

カリキュラム区分		現行カリ			シラバス区分		専攻科		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位	
		学年	学期						
助産学実践領域	S116	1年	後期	助産学専攻科	必修	思春期ヘルスケア	15	1	
						Adolescent Health Care			
担当教員									
中越 利佳									
関連するDPキーワード									
☐	① 生命の尊厳を基盤とし、助産師としての倫理観と責任感を持ち、対象を尊重することができる。								
☐	② 助産師としての役割や責務を自覚し、助産師であることに誇りを持つことができる。								
☐	③ 女性のリプロダクティブヘルス/ライツに関する健康課題について、広い視野から支援することができる。								
	④ マタニティサイクルにある対象の個性を尊重し、対象のもつ力を最大限にひきだすための基本的な助産診断及び助産技術を獲得できる								
	⑤ 女性が安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、地域と密着した子育て支援活動が理解できる。								
	⑥ 周産期医療の高度化や多様化する価値観、時代のニーズに柔軟な対応ができる能力を身につけている。								
	⑦ 助産ケアの質の向上を図るために、研究的視点や科学的根拠を活用し、さらに探究する力を身につけている。								
授業目的									
思春期の発達課題、健康課題を中心とした支援について理解し、地域の思春期集団を対象とした健康教育の企画、演習（模擬授業）を行うことができる。									
到達目標（授業目標）									
①思春期の特徴を理解することができる。									
②思春期の発達課題、健康課題に基づき、リプロダクティブヘルス/ライツの視点に立った健康教育の企画・指導案を作成できる。									
③集団教育に必要な効果的な教材を作成し、模擬授業が実施できる。									
④模擬授業内容を相互評価し、思春期の対象に効果的な集団教育のあり方について理解を深めることができる。									
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	思春期の健康課題と健康問題：リプロダクティブヘルス/ライツからみた思春期の健康課題と健康問題 思春期の性：思春期の性意識と性行動の実態								
2回	思春期健康教育の意義と課題：学校教育における性に関する健康教育の現状と課題 助産師が行う思春期健康教育の実践例（思春期前期～中学生、高校生、保護者） 思春期健康教室模擬授業オリエンテーション								
3回	思春期健康教育の実践と展開方法①：思春期健康教育の企画書・指導案作成（グループワーク）								
4回	思春期健康教育の実践と展開方法①：思春期健康教育の企画書・指導案作成（グループワーク）								
5回	思春期健康教育の実践と展開方法②：思春期健康教育のための指導案・教材作成、模擬授業の準備（グループワーク）								
6回	思春期健康教育の実践と展開方法②：思春期健康教育のための指導案・教材作成、模擬授業の準備（グループワーク）								
7回	思春期健康教育の演習：指導案発表、模擬授業の実施、模擬授業の質疑応答、相互評価 まとめ								
8回	思春期健康教育の演習：指導案発表、模擬授業の実施、模擬授業の質疑応答、相互評価 まとめ								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									

15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
授業案の完成度（30％）、模擬授業の完成度（50％） グループワークの積極的貢献度（ピアレビュー10％） レスポンスカードの記載内容（10％）で評価する。 トータル60点以上を合格とする。									
教科書	堀内成子 「助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ」（医学書院）								
参考図書等	参考図書は適宜紹介								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
指導案、教材の作成および模擬授業の準備は、グループワークの進行状況により授業時間外学習となる場合がある。									
関連科目									
前科目	S101 助産学概論	S115	ウィメンズヘルスケ						
後科目									
実務家教員									
助産師（医療機関）	中越 利佳								
備考	本講義は受胎調節実地指導員資格取得に必要な単位を含んでいる。								